

記者発表表(発表・資料配付)				
月/日 (曜)	担当課(室) 班名	TEL	発表者名 (担当係長名)	その他の発表先 配付
6/16 (月)	教育企画課 教育企画班	078-362-4478 5791	谷本 公子 (井奥 利也)	県政記者クラブ

ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)の取組状況

教育基本法第17条第2項の規定に基づき、本県教育の振興を図るため策定した「ひょうご教育創造プラン(兵庫県教育基本計画)」(平成21～25年度)の平成25年度の取組状況及び今後の取組について報告する。

1 具体的な目標(116項目)の達成状況

具体的な目標について、達成状況を4段階で評価

- ◎： 目標値を達成(100%)
- ： 目標値を概ね達成(90%以上～100%未満)
- △： 目標値をやや下回った(70%以上～90%未満)
- ▲： 目標値を下回った(70%未満)
- ※： 実績値未確定

「達成◎」「概ね達成○」した項目88項目(75.9%)・・・[別添1]

7割以上の項目で目標を達成した。

- ◎ 学習タイムの週4回実施率(小H24:100%→H25:100% 中H24:100%→H25:100%)
- ◎ 県立学校施設の耐震化率(H24:83.6%→H25:87.8%)
- ◎ 県立人と自然の博物館入館者数(H24:895,748人→H25:956,389人)
- ◎ 県立コウノトリの郷公園の普及講座の実施数、団体等の受入数
(H24:9回222件→H25:11回233件(目標9回230件))
- 地域と連携した小学校区単位での防災訓練等の実施(H24:92.2%→H25:97.2%) など

「やや下回った△」「下回った▲」項目20項目(17.2%)

小学生・高校生の新体力テスト結果、入館者数の倍増など高い目標を掲げている4つの博物館等で目標を達成できなかった。

これらの項目については、今後の対応等を取りまとめた。・・・[別添2]

- ▲ 県立歴史博物館総入館者数(H24:77,474人→H25:96,860人(目標342,000人))
- ▲ 私立小学校環境体験活動事業(H24:4校→H25:4校(目標全11校))
- △ 小学生の新体力テスト結果(H24:71.9%→H25:66.6%(目標80.0%))
- △ 障害者スポーツ組織化市町数(9市町(目標41市町)) など

施策の重点目標	達成状況				
	◎	○	△	▲	※
1 自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育の推進	25	5	6	1	5
2 「体験教育」をはじめ兵庫の特色ある教育を推進	13	3	0	0	0
3 子どもたちの学びを支えるため、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進	6	1	0	0	0
4 子どもたちが安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりの推進	7	7	2	0	3
5 新しい時代を担う人材育成や高度な研究を充実し、地域とともに歩む高等教育の推進	11	2	1	0	0
6 県民誰もが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりの推進	6	2	5	5	0
合計(116項目)	68	20	14	6	8
[参考H24実績] 合計(118項目)	(71)	(25)	(8)	(6)	(8)

2 取組状況及び今後の取組（概要）

① 「確かな学力」の確立

- 小学校5・6年生における兵庫型教科担任制を全県で実施（H25：全657校）するとともに、反復学習のための週4日の学習タイムを全ての小・中学校で実施した。
「ことばの力」の育成にかかる授業展開DVDの作成やスーパーティーチャーによる学校訪問等を通じ、全県的な授業改善などに取り組んだ。
理数教育の充実を図るため、スペシャリストによる特別授業や県立高等学校教員による小学校教員を対象とした観察・実験実技指導等を実施した。
これらの取組を通して、全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率）は、小・中学校計8科目中7科目で全国平均より高く、全国平均より低い中学校国語の「活用」も全国との差が年々縮まるなど、改善傾向が見られる。
- **第2期プラン**においては、全国学力・学習状況調査の結果等を踏まえた学力向上方策、各教科等における「ことばの力」の育成、科学技術の基礎となる理数教育、情報社会を主体的に生きるための情報教育等に取り組む。
また、グローバル化に対応するため、語学力やコミュニケーション能力、異文化に対する理解、日本人としてのアイデンティティの充実を図る。

[平成26年度新規事業]

- ・ひょうごがんばりタイム～放課後における補充学習等推進事業～（小・中学校）
- ・小学校算数魅力ある授業づくり実践研修、小学校算数の授業改善の促進
- ・土曜日の有効活用モデル推進事業（高等学校）
- ・高大接続推進事業
- ・言語活動の充実に関する教科別実践研究会（高等学校）
- ・拠点工業高校によるものづくり技術・技能習得事業
- ・ひょうごの「教育の情報化」推進事業
- ・高校生短期海外留学の支援
- ・スーパー・グローバル・ハイスクール事業
- ・英語担当教員の指導力向上事業
- ・副読本「世界と日本」の活用（高等学校）

② 「豊かな心」の育成

- 道徳教育を推進するため、指導体制の充実や教員の指導力の向上に取り組むとともに、「兵庫版道徳教育副読本」の活用により、豊かな情操と道徳性を培い、これらに基づいて行動する力の育成を図った。
これらの取組を通して、全国学力・学習状況調査結果では、小・中学生とも規範意識に関する質問項目で肯定意見が90%を超えるなど高い傾向となっている。これに比べ、「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助ける」などの自尊感情や、思いやり等を行動にうつす力は低い傾向にある。
- **第2期プラン**においては、第1期プランでの取組を発展させ、学校・家庭・地域が連携した道徳教育、発達の段階に応じた人権教育、多文化共生社会の実現をめざす教育の充実を図る。

[平成26年度新規事業]

- ・指導資料「道徳の時間」の充実のために」の活用
- ・中学生用人権教育資料「きらめき」等の活用

③ 「健やかな体」の育成

- 「運動プログラム2009」を活用した指導の充実を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組んだ。
運動部活動における体罰の根絶と望ましい部活動の推進を図るため、教職員研修資料「いきいき運動部活動」を作成した。
望ましい食習慣の形成を図る食育、心身の健康課題に対応する健康教育等に取り組んだ。

これらの取組を通して、児童生徒の体力・運動能力は、体力水準の高かった昭和 60 年頃と比較すると依然低い水準にあるが、前年度の全国平均値と比較すると、中学校男子を除く全ての校種で、全国と「同程度」もしくは「上回る」項目が多い状況となっている。

- **第 2 期プラン**においては、全国体力・運動能力等調査の結果等を踏まえた体力・運動能力の向上、望ましい食習慣の形成を図る食育、心身の健康課題に対応する健康教育等に取り組む。

[平成 26 年度新規事業]

- ・いきいき運動部活動支援事業
- ・近畿中学校総合体育大会の開催
- ・H27 全国高等学校総合体育大会の開催準備
- ・スーパー食育スクール事業

④ 特別支援教育の充実

- インクルーシブ教育システム構築に向けた本県特別支援教育の推進方策を示す「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」を策定するとともに、多様な教育ニーズに対応した特別支援教育の充実に取り組んだ。

知的障害児童生徒の急増に対応するため、姫路しらさぎ特別支援学校を開校するとともに、県立猪名川高等学校内に県立こやの里特別支援学校分教室を設置した。

- **第 2 期プラン**においては、「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」に基づき、早期からの一貫した支援、交流及び共同学習、系統的なキャリア教育による自立と社会参加の促進等に取り組む。

[平成 26 年度新規事業]

- ・インクルーシブ教育システムの構築に向けた市町支援
- ・授業のユニバーサル化モデル研究
- ・キャリア教育・就労支援推進事業
- ・神戸西部新設高等特別支援学校の整備
- ・神戸市東部・阪神地域児童生徒数増加対策
- ・県立阪神特別支援学校分教室・但馬北西部特別支援学校分校の整備

⑤ 特色ある兵庫の教育の推進

- 兵庫型「体験教育」の評価・検証委員会からの提言（H23.3）を踏まえ、引き続き発達の段階に応じた体験活動を実施した。

高等学校におけるふるさと貢献活動及びインターンシップについて、全ての生徒の活動に拡げることをめざして取り組んだ。

震災から得た教訓を語り継ぎ、ボランティア等「共生」の心を育む「兵庫の防災教育」の推進に引き続き取り組んだ。

- **第 2 期プラン**においては、子どもたちの社会的自立に向けたキャリア形成を支援するため、小・中・高それぞれの発達段階に応じ、教育活動全体を通じたキャリア教育の充実に取り組む。

学校・家庭・地域社会が一体となって心の教育の充実を図るため、発達の段階に応じた兵庫型「体験教育」を推進する。

阪神・淡路大震災 20 年を機に、「兵庫の防災教育」を検証し、一層の充実を図る。

[平成 26 年度新規事業]

- ・小学校教員用「キャリア教育指導資料」の作成
- ・中学校「キャリアノート」モデル、高等学校「キャリアノート」の作成
- ・震災 20 年防災教育フォーラムの開催
 - －命を守り絆を育む「兵庫の防災教育」の展開－
- ・ひょうごエコっこ育成事業（幼稚園・保育所・認定こども園）

⑥ 子どもたちが安心して学べる環境づくり等の推進

- 耐震改修を計画的に実施するとともに、空調、太陽光発電やICT環境など学習環境の整備に取り組んだ。

「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」に基づき、全公立学校において教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動を充実させる取組を進めた。

県・市町・関係機関が連携し、いじめ対応ネットワークの構築、スクールカウンセラーの配置拡充、教員研修による教職員の対応能力向上など、総合的ないじめ対策を推進した。また、体罰の根絶に向け、「No!体罰」を活用した研修を実施した。

地域が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校支援活動を行う学校支援地域本部事業など、地域と学校の緊密な連携等に取り組んだ。

- **第2期プラン**においては、学校、家庭、地域が子どもたちの成長にかかわる当事者として、互いに連携・協力して、子どもたちの教育に取り組めるよう学校の組織力及び教職員の資質能力の向上を図るとともに、安全・安心な学習環境の整備を推進する。

家庭の教育力の向上を図り、基本的な学習習慣を身につけるとともに、地域全体で子どもを育てる環境づくりを推進する。

[平成26年度新規事業]

- ・教職員のメンタルヘルス総合対策事業
- ・兵庫県いじめ防止基本方針に基づく総合的ないじめ防止対策の推進
(いじめを決して許さない集団づくり実践事業、スクールカウンセラーの小学校配置拡充、兵庫県いじめ対策審議会の設置等)
- ・就学支援事業、奨学のための給付金制度の創設(高等学校)
- ・地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業
- ・小規模放課後児童クラブの運営支援

⑦ 生涯学習社会づくりの推進

- 社会教育施設を、地域における学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として機能させるため、魅力ある展覧会の開催に加え、イベントや講座等を充実し、来館の促進を図った。

「のじぎく兵庫国体」「のじぎく兵庫大会」の成果を活かした競技力の向上、「スポーツクラブ21ひょうご」を通じた世代を超えた交流、神戸マラソンの開催等による生涯スポーツの充実等に取り組んだ。

- **第2期プラン**においては、県民一人一人が様々な学びの機会を得るよう多様な社会教育・生涯学習基盤の整備を図るとともに、歴史文化遺産をいかした学びや地域づくりを支援する。

また、「兵庫県スポーツ推進計画」に基づき、県民一人一人が健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現を図る。

[平成26年度新規事業]

- ・第5回「コウノトリ未来・国際かいぎ」の開催
- ・第3次ひょうご子どもの読書活動推進計画の策定
- ・黒田官兵衛・播磨国風土記関連文化財を活かした地域再発見事業
- ・関西マスターズスポーツフェスティバルの開催
- ・「関西ワールドマスターズゲームズ2021」の開催準備

参考：具体的な取組状況及び今後の取組

重点目標 1 自主的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育に取り組めます

1 知識基盤社会に対応する「確かな学力」の確立

- 小学校5・6年生における兵庫型教科担任制を全県で実施（H25：全657校）するとともに、反復学習のための週4日の学習タイムを全ての小・中学校で実施した。
「ことばの力」の育成にかかる授業展開DVDの作成やスーパーティーチャーによる学校訪問等を通じ、全県的な授業改善などに取り組んだ。
理数教育の充実を図るため、スペシャリストによる特別授業や県立高等学校教員による小学校教員を対象とした観察・実験実技指導等を実施した。
これらの取組を通して、全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率）は、小・中学校計8科目中7科目で全国平均より高く、全国平均より低い中学校国語の「活用」も全国との差が年々縮まるなど、改善傾向が見られる。

〔平成25年度（第1期プラン）の取組状況〕

□全国学力・学習状況調査の結果（目標：平均正答率全国平均以上）

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
小学校 (全国)	62.4% (61.8%)	66.3% (66.0%)	71.6% (72.0%)	—	66.8% (66.9%)	全国平均以上	64.7% (64.2%)	○
中学校 (全国)	65.2% (64.4%)	69.1% (68.3%)	66.4% (65.5%)	—	62.6% (61.7%)	全国平均以上	65.9% (64.5%)	

【教科に関する調査の状況】（H25実績）

	教科等	平均正答率（%）		本県と全国の差		
		本県	全国	H25	H21	
小6	国語	知識	63.3	62.7	+0.6	+0.8
		活用	49.9	49.4	+0.5	+0.4
	算数	知識	77.4	77.2	+0.2	+0.5
		活用	59.2	58.4	+0.8	±0.0
中3	国語	知識	76.8	76.4	+0.4	+0.2
		活用	67.0	67.4	-0.4	-0.5
	数学	知識	65.9	63.7	+2.2	+2.0
		活用	43.8	41.5	+2.3	+1.0

□公立小学校5・6年生における「兵庫型教科担任制」の実施校

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
活用割合	—	113校	261校	466校	全県実施 660校	全県実施	全県実施 657校	◎

□公立小・中学校における反復学習のための学習タイムの週4回実施率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
小学校	69.9%	73.0%	78%	93.9%	100%	100%	100%	◎
中学校	82.2%	92.1%	96%	97.3%	100%	100%	100%	

□数学・理科甲子園の参加者数

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
参加者数	435人	555人	711人	1,070人	1,486人	1,600人	1,942人	◎

□「ことばの力」教材を活用した授業を全県立高等学校で実施

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
活用割合	—	作成	全県展開	60.1%	67.6%	全県立高校で活用	H26.6 調査	※

□ひょうご「ことばの力」ステップアップフォーラム

・小・中・高等学校による実践発表等 参加者数 240名

□言語活動の実施状況(H24 に実施した学校の割合)

各教科等で実施した言語活動の内容	実施割合
①体験から感じ取ったことを表現する	54%
②事実を正確に理解し、説明したり活用したりする	42%
③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする	44%
④情報を分析・評価し、論述する	56%
⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する	38%
⑥互いの考え方を伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる	44%

※各教科及び総合的な学習の時間、特別活動を集約

□サイエンスフェア in 兵庫

参加者数：1,389名(うち高校生1,076名)

等

〔平成26年度(第2期プラン)の主な取組〕

□ひょうごがんばりタイム～放課後における補充学習等推進事業～

放課後に地域人材を活用した補充学習を実施する市町及び学校の学力向上に向けた取組を促進。 ・公立小・中学校 100校程度

□小学校算数魅力ある授業づくり実践研修、小学校算数の授業改善の促進

数、式、図、表、グラフなど算数特有の「ことばの力」を用いた学習活動等を充実し、授業改善を図るための教員研修を実施。小学校算数の効果的な授業展開を研究する学校を指定し、その成果を小・中学校学力向上シンポジウム等を通じ普及。

□土曜日の有効活用モデル推進事業

高等学校における土曜日の効果的な授業の在り方について研究しその成果を普及。

(1)キャリア意識や学習意欲を高める活動(先輩等との意見交換等)

(2)探求活動(テーマ別課題研究、実践発表会等)

□高大接続推進事業

京都・大阪・神戸大学との連携包括協定に基づき、県立高等学校20校を指定し、大学の教育資源を活用した発展的な学習を実施。

・大学教授等の指導による実験・講義、研究室等の大学施設の訪問等

□言語活動の充実に関する教科別実践研究会

H24～25の実践研究により開発した授業事例集を踏まえ、各教科ごとに実践研究を行い、研究成果を全県に普及。

□拠点工業高校によるものづくり技術・技能習得事業

拠 点 校 2校(兵庫工業高校・姫路工業高校)

整備機器 5軸マシニングセンタ、3D CAD-CAM、3Dプリンター等

実習形態 拠点校での夏季休業期間等を利用した集中実習

技能検定受験者等を対象とした特別実習等

□ひょうごの「教育の情報化」推進事業

(1)ひょうごの教育の情報化推進協議会(年2回)

(2)県警や関係機関等との連携によるネットトラブルから子どもを守る連携会議(年3回)

(3)情報教育研修会の開催(対象：全公立学校の情報教育担当教員)

□海外留学チャレンジプラン

(1)グローバルリーダーによる講演会の開催

(2)高校生海外留学への支援(長期30人、短期150人)

(3)留学フェアの開催

□スーパー・グローバル・ハイスクール事業

指 定 校 1校(姫路西高等学校)

指定期間 5年間(H26～30)

□英語担当教員の指導力向上事業

(1)小・中・高等学校の英語教育推進リーダー研修(9名)

(2)外部専門機関と連携した指導力向上研修(100名)

□副読本「世界と日本」の活用

世界史の中で日本の歴史と関連づけて学ぶ副読本「世界と日本」を順次授業で使用するとともに、副読本の効果的な活用を図る。

等

2 自尊心や自律性など道徳性をはじめとした「豊かな心」の育成

- 道徳教育を推進するため、指導体制の充実や教員の指導力の向上に取り組むとともに、「兵庫版道徳教育副読本」の活用により、豊かな情操と道徳性を培い、これらに基づいて行動する力の育成を図った。

これらの取組を通して、全国学力・学習状況調査結果では、小・中学生とも規範意識に関する質問項目で肯定意見が 90%を超えるなど高い傾向となっている。これに比べ、「自分にはよいところがあると思う」「人が困っているときは進んで助ける」などの自尊感情や、思いやり等を行動にうつす力は低い傾向にある。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

□「兵庫版道徳教育副読本」の配布

・小学校低・中・高学年及び中学校用、印刷部数 205,800 冊

□全公立小・中学校における道徳教育副読本の活用を盛り込んだ年間指導計画の作成率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
作成率	—	—	—	100% (891/891校)	100% (883/883校)	100%	100% (877/877校)	◎

□道徳教育推進地域・推進校事業

・推進地域・推進校：10 中学校区、29 校

□道徳教育推進事業

- (1) 道徳教育実践推進協議会の設置（年 3 回）
- (2) 道徳教育実践研究事業（推進地域：県内 10 地域）
- (3) 道徳教育実践研修（全県研修及び地区別研修）
- (4) 道徳教育実践研究のまとめの作成

□人権教育資料の活用と普及

人権教育資料の効果的な活用と普及を図る研修等の実施。

- (1) 人権教育資料（改訂版）（幼稚園用及び小学生用「ほほえみ」、高校生用「HUMAN RIGHTS」）
- (2) 児童生徒用人権教育パンフレット「たいせつなたいせつなあなただから」「かけがえのないあなただから」
- (3) 中学・高校生向け「DV防止啓発パンフレット」
- (4) いじめを許さない人権教育教材

□子ども多文化共生教育支援事業

- (1) 子ども多文化共生サポーターの派遣（18 言語、延べ 176 名、320 校）
- (2) 子ども多文化共生センターの運営

□公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業

- (1) 運営協議会の設置
- (2) 日本語能力測定方法活用のための協議会等の設置
- (3) 初期指導教室（プレクラス）の実施
- (4) センター校の設置

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

□指導資料「『道徳の時間』の充実のために」の活用

兵庫版道徳教育副読本を活用した「道徳の時間」の充実を図るため、昨年度作成した指導資料（副読本を活用した実践事例、小中連携、家庭地域との連携方法等）の各学校での活用を進める。

□中学生用人権教育資料「きらめき」等の活用

各学校における授業や校内研修において、平成 25 年度までに作成した人権教育資料の活用を促進する。

等

3 運動や食育、健康教育を通じた「健やかな体」の育成

- 「運動プログラム 2009」を活用した指導の充実を図り、児童生徒の体力・運動能力の向上に取り組んだ。
 また、運動部活動における体罰の根絶と望ましい部活動の推進を図るため、教職員研修資料「いきいき運動部活動」を作成した。
 さらに、望ましい食習慣の形成を図る食育、心身の健康課題に対応する健康教育等に取り組んだ。
 これらの取組を通して、児童生徒の体力・運動能力は、体力水準の高かった昭和 60 年頃と比較すると依然低い水準にあるが、前年度の全国平均値と比較すると、中学校男子を除く全ての校種で、全国と「同程度」もしくは「上回る」項目が多い状況となっている。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- 新体力テスト項目で全国平均と同等または上回る項目の割合

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
小学校	56.3%	61.2%	58.3%	66.7%	71.9%	80%以上	66.6%	△
中学校	55.6%	63.0%	68.5%	79.6%	79.6%	80%以上	72.2%	○
高等学校	81.5%	77.8%	83.3%	88.9%	87.0%	90%以上	79.6%	△

- 「体力アップひょうご」サポート事業
 「運動プログラム 2009（DVD）」の活用を促進するとともに、専門的な指導力を有する体力アップサポーターを小学校へ派遣。
 (1) 「体力アップサポート委員会」の設置（年 3 回）
 (2) 体力アップサポーターの派遣（51 校）
 (3) 学校体育指導力向上事業（幼稚園・小学校教員等を対象とした実技講習会実施）
 (4) 「体力アップスクール表彰」の実施
 (5) 児童生徒の体力・運動能力調査の実施
- 運動部活動等活性化専門員の配置
 適切な運動部活動への助言を行うため、各教育事務所・教育振興室に配置
- 学校教育活動全体で行う食育の推進
 (1) 食育実践推進委員会の設置（年 3 回）
 (2) 学校給食衛生管理推進研修（県内 5 地域）
- 学校保健課題解決支援事業
 アレルギー疾患や心の問題等児童生徒の現代的な健康課題の解決に向け、医師など地域の専門家や関係機関等と連携し、教職員への啓発を推進。
 (1) 学校保健推進連絡協議会の開催
 (2) 研修会等への専門医の派遣

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- いきいき運動部活動支援事業
 (1) 「いきいき運動部活動支援員」の派遣
 (2) 指導者研修会（年 7 回実施）
- 近畿中学校総合体育大会の開催
 ○ 時 期 平成 26 年 8 月～27 年 1 月
 ○ 場 所 ベイコム総合体育館等
 ○ 実施競技 陸上競技、駅伝競技等 20 競技
- H27 全国高等学校総合体育大会の開催準備
 ○ 開催競技 サッカー、相撲、ボクシング、ウエイトリフティング、少林寺拳法
- スーパー食育スクール事業
 ○ 対 象 中学校 1 校（稲美町立稲美中学校）
 ○ 内 容 「食と健康」をテーマにした実践研究

等

4 生徒の多様な学習ニーズに対応する県立高等学校教育の充実

- 「県立高等学校教育改革第二次実施計画」に基づき、魅力ある学校づくり、望ましい規模の確保と配置の適正化、入学者選抜制度・方法の改善、定時制高校等の活性化と望ましい配置など、県立高等学校教育改革を進めた。
また、県立高等学校の新通学区域の円滑な導入に向け、中学生の進路選択を支援するため、複数志願選抜や、各校の魅力・特色について、生徒、保護者等への周知・広報を実施した。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- 魅力あるひょうごの高校づくり推進事業～インスパイア・ハイスクール～
・150校、延べ169校
- 県立高等学校新通学区域の導入
・選抜制度等説明会の開催（5学区、延べ14回）

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 高校教育改革の推進
県立宝塚北高等学校（グローバルサイエンスコース→グローバルサイエンス科）
県立兵庫高等学校（総合科学類型→未来創造コース）
県立尼崎高等学校（教育総合類型→教育と絆コース）
県立村岡高等学校（地域創造類型→地域アウトドアスポーツ類型）
- インスパイア・ハイスクール事業～魅力・特色づくりの充実～
・全県立高等学校で実施（150校）

実施テーマ	魅力ある高校づくりの取組例	実施校数
理数教育	○大学教授、専門家等による実験・観察などの探求活動等の指導 ○英語を用いた研究発表会の実施 等	30校
国際化に対応した教育	○先進的な国際理解教育の推進 ○他言語教育の充実 等	20校
スペシャリスト育成	○企業や研究機関と連携した専門技術・知識の習得 ○高度な検定の合格・資格取得に向けた大学教授、専門家等による指導 等	35校
特色ある教育活動	○地域資源・地域人材を活用するなど、学校の創意工夫による魅力・特色づくり（環境教育、ボランティア・福祉教育等） 等	25校
キャリア教育	○企業や大学研究室等の現場における長期実習（年間30日以上） ○社会的、職業的自立に向けた多様な講座、科目の設置 等	40校

- 公立高等学校の新通学区域の導入
・生徒、保護者等への新選抜制度の周知・広報

等

5 ひょうごユニバーサル社会づくりの理念に基づく特別支援教育の充実

- インクルーシブ教育システム構築に向けた本県特別支援教育の推進方策を示す「兵庫県特別支援教育第二次推進計画」を策定するとともに、多様な教育ニーズに対応した特別支援教育の充実に取り組んだ。
また、知的障害児童生徒の急増に対応するため、姫路しらさぎ特別支援学校を開校するとともに、県立猪名川高等学校内に県立こやの里特別支援学校分教室を設置した。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

□特別支援教育体制充実事業

- ・ 特別支援教育支援員アドバイザーの配置（6 教育事務所）
- ・ 特別支援教育支援員地区別研修（年 3 回）
- ・ 特別支援教育コーディネーター研修等の実施

□公立学校園における校園内委員会の設置率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
設置率	94.9%	99.5%	99.6%	100%	100%	100%	100%	◎

□公立学校園における特別支援教育コーディネーターの指名率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
指名率	93.8%	97.4%	97.8%	99.2%	100%	100%	100%	◎

□県立特別支援教育センターにおける研修

発達障害教育研修、インクルーシブ教育システム研修等を実施

□LD、ADHD等に関する相談・支援事業

- (1) 「ひょうご学習障害相談室」の運営（電話及び面談による相談の実施）
- (2) 学校への「ひょうご専門家チーム」の派遣

□姫路しらさぎ特別支援学校の開校（平成 26 年 4 月）

設置場所 姫路市苫編（旧姫路高等技術専門学院跡地）
 障害種別等 知的障害（小・中・高等部）、200 人程度

□県立こやの里特別支援学校分教室の開設（平成 26 年 4 月）

設置場所 県立猪名川高等学校内
 障害種別等 知的障害（高等部社会・職業コース）、16 人（1 学年）

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

□インクルーシブ教育システム構築に向けた市町支援

- (1) 広域特別支援連絡協議会の開催
- (2) 特別支援教育推進員の配置

□授業のユニバーサル化モデル研究

すべての児童生徒にとってわかりやすい授業や指導方法を研究（朝来市（小学校 2 校、中学校 1 校））

□学習活動自立支援員の配置

学校生活において支援が必要な発達障害等のある生徒が在籍する高等学校：4 校程度

□キャリア教育・就労支援推進事業

- (1) 公開授業の実施（地元企業の人事担当者を対象に実習授業を公開）
- (2) 運営会議の開催
- (3) 就労支援コーディネーター（就職先開拓等）の配置

□神戸西部新設高等特別支援学校の整備（平成 29 年 4 月開校予定）

設置場所 神戸市西区（農業公園内）
 障害種別等 知的障害（高等部職業科）、144 人（3 学年）

□県立阪神特別支援学校分教室の整備（平成 27 年 4 月開設予定）

設置場所 尼崎市（県立武庫荘総合高等学校内）
 障害種別等 知的障害（高等部職業コース）、16 人（1 学年）（最終 3 学年 48 人）

□但馬北西部特別支援学校の整備（平成 27 年 4 月開校予定）

設置場所 香美町（旧町立射添中学校跡施設）
 障害種別等 知的障害（小・中・高）、約 30～40 人

□神戸市東部・阪神地域児童生徒数増加対策

芦屋特別支援学校への仮設校舎設置や西宮市内の県立高校への分教室設置等を検討等

重点目標2 「体験教育」をはじめ兵庫の特色ある教育を推進します

1 兵庫型「体験教育」の推進

- 兵庫型「体験教育」の評価・検証委員会からの提言（H23.3）を踏まえ、引き続き発達の段階に応じた体験活動を実施した。
高等学校におけるふるさと貢献活動及びインターンシップについて、全ての生徒の活動に拡げることがめざして取り組んだ。

〔平成25年度（第1期プラン）の取組状況〕

- 発達の段階に応じた兵庫型『体験教育』の推進（自然学校、トライやる・ウィーク等）
- 高校生就業体験事業インターンシップコーディネーターの配置（県立高等学校10人）
- 県立高等学校における事業所等でのインターンシップの実施率（就職希望者対象）

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
実施率	—	—	—	40%	53.4%	70%	64.1%	○

- 県立高等学校におけるふるさと貢献活動の実施率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
実施率	—	—	—	78.8%	86.7%	90%	91.5%	◎

- 環境体験事業
対象：全公立小学校3年生（771校）、実施回数：年間3回以上
- 自然学校の推進
対象：全公立小学校5年生（772校）、期間：原則4泊5日以上
- 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の推進
対象：全公立中学校・中等教育学校及び市立特別支援学校中学部2年生（364校）、
期間：6月または11月を中心とする1週間
- 青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～
対象：全公立中学校1年生（346校：約49,000人）
内容：佐渡裕芸術監督プロデュースによるショー形式の参加型鑑賞教室
- 高校生ふるさと貢献活動事業～トライやる・ワーク～
対象：全県立高等学校生徒
内容：地域安全活動・環境保全活動、ふるさと支援活動の企画・運営等
- 高校生就業体験事業～インターンシップ推進プラン～
対象：全県立高等学校生徒
内容：事業所等におけるインターンシップ、地域の職業人等による進路講演会等
等

〔平成26年度（第2期プラン）の主な取組〕

- 特別支援学校交流・体験チャレンジ事業
対象：すべての県立・市立特別支援学校（43校）
- 発達段階に応じたキャリアプランニング能力の育成
 - ・ 小学校教員用の「キャリア教育指導資料」の作成
 - ・ 中学生用の「キャリアノート」モデルの作成
 - ・ 高校生用の「キャリアノート」の作成
- ひょうごエコっこ育成事業
 - ・ 幼児期の環境学習のモデルとなる幼稚園、保育所、認定こども園を指定（30園）
 - ・ 地域での環境体験やエコ活動、近隣園・所の教員等の参加による公開保育等を通して、幼児のふるさと意識や環境に配慮した生活習慣を育成
等

2 震災の教訓を生かし語り継ぐ兵庫の防災教育の推進

- 防災教育副読本を活用した防災教育及び各学校の災害対応マニュアルの見直しによる防災体制の充実を図るとともに、震災・学校支援チーム（EARTH）員や高等学校等による東日本大震災の被災地支援に取り組んだ。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- 兵庫の防災教育の推進
 - (1) 防災教育推進連絡会議の開催
 - (2) 防災教育研修会の開催
 - (3) 学校防災アドバイザーの派遣（災害対応マニュアルや防災訓練等の診断・助言）
 - (4) 震災・学校支援チーム（EARTH）スキルアップ訓練・研修
- 東日本大震災の被災地支援
 - (1) 心のケアに係る教員研修
東日本大震災の被災児童・生徒の長期的な心のケア対策のため、EARTH 員等を被災地へ派遣し、教職員を対象とした研修会等を開催する。
 - (2) 高等学校等による被災地支援
 - ① 高校生防災リーダー学習会の開催（2泊3日 20校）
 - ② 高校生による被災地支援の実施（2泊3日）

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 阪神・淡路大震災 20 年事業「震災 20 年防災教育フォーラムー命を守り絆を育む「兵庫の防災教育」の展開ー」の開催

時 期	平成 26 年 11 月
場 所	神戸文化ホール
内 容	基調講演、防災教育実践事例の発表、パネルディスカッション

等

重点目標3 子どもたちの学びを支えるため、学校・家庭・地域が一体となって取り組みます

1 地域社会の連帯意識の再生と地域の教育力の向上

- 地域が主体的に学校運営に参画し、効果的な学校支援活動を行う学校支援地域本部事業、小学校区への「子ども教室」「児童クラブ」の開設など、地域と学校の緊密な連携等に取り組んだ。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- ひょうご学校支援地域本部事業の実施
 - (1) 運営協議会の設置（県）
 - (2) 学校支援地域本部事業の設置（市町）
 - (3) 学校支援地域本部事業

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
登録ボランティア数	46,349人	77,671人	80,617人	76,675人	67,753人	60,000人	85,950人	◎

- ひょうご放課後プラン事業（子ども教室・児童クラブ）
 - ・子ども教室 H24:208 校区→H25:216 校区
 - ・児童クラブ H24:719 校区→H25:716 校区
- PTAによる学校、家庭、地域の連携強化事業
 - ・全県・地区別研究大会の実施
 - ・PTCA教育支援活動への支援
- ひょうご社会教育活性化支援事業
公民館等の社会教育施設を活用し、地域課題の解決に向けたプログラムの開発及び社会教育指導者の資質能力の向上。

- (1) 家庭教育支援（3市町）
- (2) 地域振興支援（4市町）
- (3) 防災拠点形成支援（3市町）

等

〔平成26年度（第2期プラン）の主な取組〕

□地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業

多様な経験や技能をもつ地域の人材・企業等を活用して、土曜日ならではの体系的・継続的プログラムを実施（16市町、102校）。

等

重点目標4 子どもたちが安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりを進めます

1 学校の組織力の向上

- 新たに策定した「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」に基づき、全公立学校における教職員定時退勤日の実施、「ノー会議デー」「ノー部活デー」など、教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動を充実させる取組を進めた。

〔平成25年度（第1期プラン）の取組状況〕

□主幹教諭の配置

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
割合	70.7%	83.0%	90.0%	92.7%	96.9%	100%	97.8%	○

□「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」に基づく取組の推進

- (1) 全公立学校における取組
 - ・教職員定時退勤日（週1回）を設定し、完全実施に向けた取組を推進
 - ・平日週1回以上、土・日等の休業日月2回以上の「ノー部活デー」の実施
 - ・週1回以上の「ノー会議デー」の実施
 - ・学校運営方針への「教職員の勤務時間の適正化」の明記、保護者への説明等
- (2) 新対策プラン推進校の指定と学校業務改善の取組実施
- (3) 学校業務改善情報交換会等の開催
- (4) 勤務時間適正化の実態把握

□学校管理職・教育行政職特別研修（5日間）

学校経営・教育行政の基礎、学校運営等の改善を実践する知識とスキルの育成。

対象 新任教頭、県立学校新規教頭名簿登載者、新任指導主事 等

内容 学校組織マネジメント、学校危機管理、教職員評価、体罰やいじめ問題等に係る講義及び演習

□主幹教諭研修（2日程度）

対象 公立学校新任主幹教諭

内容 主幹教諭の役割等についての講義、実践発表、班別演習

等

〔平成26年度（第2期プラン）の主な取組〕

□教職員のメンタルヘルス総合対策事業

- (1) 嘱託精神科医の委嘱
- (2) メンタルヘルスアドバイザーの配置
- (3) 復職支援プログラム事業の充実
 - 従来のリワーク支援に加え、復職後のフォローアッププログラム、軽度対象のプレリワークプログラムを実施

等

2 安全・安心で、質の高い学習環境の整備

- 耐震改修を計画的に実施するとともに、空調、太陽光発電やICT環境など学習環境の整備に取り組んだ。
 「教職員の勤務時間適正化新対策プラン」に基づき、全公立学校において教職員が児童生徒と向き合う時間を確保し、教育活動を充実させる取組を進めた。
 県・市町・関係機関が連携し、いじめ対応ネットワークの構築、スクールカウンセラーの配置拡充、教員研修による教職員の対応能力向上など、総合的ないじめ対策を推進した。また、体罰の根絶に向け、「No！体罰」を活用した研修を実施した。

〔平成25年度（第1期プラン）の取組状況〕

□ 県立学校施設の耐震化率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
耐震化率	61.0%	65.4%	68.6%	77.9%	83.6%	90%	87.8%	○

□ 県立学校施設天井等落下防止対策事業

県立学校体育館等の天井材等非構造部材について、緊急的に落下防止等の耐震対策を実施（平成27年度までに完了）

□ 県立学校の整備推進

- (1) エレベーター設置等バリアフリー改修、特別支援学校への空調設備導入等
- (2) 高等学校普通教室への空調設備導入（10校）
- (3) 高等学校太陽光発電設備の設置（10校）

□ 小・中学校児童生徒のいじめ……認知したいじめを解消させた割合

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
兵庫 (全国)	73.1% (80.1%)	75.6% (79.5%)	76.2% (79.4%)	78.4% (81.0%)	87.0% (89.4%)	全国平均 以上	H26.5 調査	※

□ こころの相談支援事業

- (1) 小学校へのスクールカウンセラーの拠点配置（100校）
- (2) 全公立中学校等へのスクールカウンセラーの配置
- (3) 兵庫県スクールカウンセラー研究連絡会の開催

□ スクールカウンセラー・スーパーバイザーの配置

小・中学校に配置するスクールカウンセラーへの指導・助言を行うとともに、重大な事案に対して専門的立場から助言。

配置人数 3人（スクールカウンセラーを兼ねて配置）

□ 学校支援チームの派遣

社会福祉士、精神科医、警察OB、教員OB等で構成（教育事務所等に設置）

□ 高等学校問題解決サポートチームの派遣

弁護士、精神科医等で構成（本庁に設置）

□ いじめ等教育相談の実施

- (1) ひょうごっ子悩み相談（〈いじめ・体罰〉相談24時間ホットライン）の実施
- (2) ひょうごっ子悩み相談（〈いじめ・体罰〉相談・通報窓口）（ひょうごっ子悩み相談センター分室）の設置
- (3) ひょうごっ子「ネットいじめ情報」相談窓口の設置

□ 兵庫県いじめ対応ネットワーク会議の設置

いじめの未然防止、早期発見・早期解決を図るための地域的・全県的な体制を整備。

- (1) 全県ネットワーク会議の設置（年1回）
- (2) 地域ネットワーク会議の設置（年2回）

□ オープンスクールの充実（地域住民の参加者数）

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
参加者数	97,152人	90,420人	94,230人	102,188人	97,454人	102,000人	111,981人	◎

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 兵庫県いじめ防止基本方針に基づく総合的ないじめ防止対策の推進
- いじめを許さない集団づくりの推進
 - (1) いじめを決して許さない集団づくり実践事業（小 6 校、中 6 校、高 10 校、特支 2 校）
 - (2) いじめ防止啓発チラシの配布
- 小学校へのスクールカウンセラーの配置拡充（公立小学校 110 校（H25：100 校））
- 兵庫県いじめ対策審議会の設置
 - 構成 弁護士、精神科医、学識経験者、臨床心理士 等
- 地域で“共育”土曜チャレンジ学習事業【再掲】
- 小規模放課後児童クラブの運営支援
 - 幼稚園、保育所等で、4～9 人の児童を預かる小規模な児童クラブの開設を支援

等

重点目標 5 新しい次代を担う人材育成や高度な研究を充実し、地域とともに歩む高等教育を推進します

- 県立大学評価委員会において、経営研究科等の開設による高度専門職業人の育成や、高度な研究基盤を活用した先端研究、地域との連携・協働活動に全学的に取り組む地域創造機構の開設等の取組に高い評価を得た。

1 教育の充実・強化

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- シミュレーション学研究科（定員 20 名）の運営（H25 入学者数 19 名）
- 県立大学と県立大学附属中学校・同附属高校の連携授業の実施

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 地域資源マネジメント研究科、看護学研究科に共同災害看護学専攻の開設・運営
- 高大連携プログラムの推進
- 中大連携授業の実施

等

2 研究のさらなる発展・高度化

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- シミュレーション学研究科と大学連携拠点の運営
- 研究者データベースの登録率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
登録率	96.0%	99.0%	98.2%	99.3%	99.1%	100%	98.2%	○

- 次世代ピコバイオロジー教育研究の推進

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 次世代ピコバイオロジー教育研究の推進
- 自然・環境科学の研究の推進
- 産業界の放射光利用の促進

等

3 社会貢献の積極的展開

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- インキュベーションセンターの利用率

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
利用率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	◎

- 公開講座の受講者数

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
受講者数	712人	1,149人	1,120人	1,113人	1,045人	600人	1,144人	◎

等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 生涯学習プログラムの提供
- アウトリーチプログラム（特別公開講座）
- アカデミック・ツーリズム・プログラムの実施
- インキュベーションセンターの活用
- 産学連携キャリアセンターの設置運営

等

重点目標 6 県民誰もが生きがいをもって地域社会に参画する生涯学習社会づくりを推進します

1 県民の学習ニーズに応える社会教育・生涯学習の振興

- 社会教育施設を、地域における学習の拠点、人づくり・まちづくりの拠点として機能させるため、一層魅力ある展覧会の開催に加え、イベントや講座等を充実し、来館の促進を図った。

〔平成 25 年度（第 1 期プラン）の取組状況〕

- 県立美術館・博物館の年間総入館者数（目標は H18～H20 実績（平均）の倍増として設定）

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
美術館	500,928人	1,048,233人	824,833人	645,166人	655,686人	1,026,000人	731,173人	△
歴史博物館	225,650人	185,149人	88,764人	96,378人	77,474人	342,000人	96,860人	▲
人と自然の博物館	555,782人	432,574人	464,605人	681,940人	895,748人	954,000人	956,389人	◎
考古博物館	187,452人	155,911人	155,203人	136,010人	149,083人	290,000人	155,126人	▲
陶芸美術館	106,357人	98,489人	119,991人	131,517人	109,464人	200,000人	98,976人	▲

- 県立美術館における魅力ある展覧会（10周年記念事業）の開催
 - ・「奇跡のクラーク・コレクション ールノワールとフランス絵画の傑作ー」「ポンピドゥー・コレクション」等
- 県立歴史博物館における特別展・企画展の開催
 - ・「2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」」「博物館はおばけやしきー Haunted Museumー」等
- 県立人と自然の博物館特別企画の実施
 - ・「ひとはくしぜんかわらばん 2013」「干支展「午（うま）さん ようこそ」」等

〔平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組〕

- 県立美術館ー「芸術の館」ーの運営
 - (1) 特別展の開催

展覧会名	期 間
夢見るフランス絵画ー印象派からエコール・ド・パリへ	平成 26 年 4 月 12 日～6 月 1 日
東京・ソウル・台北・長春ー官展にみる近代美術	平成 26 年 6 月 14 日～7 月 21 日
宝塚歌劇 100 周年記念宝塚歌劇 100 年展ー夢、かがやきつづけてー	平成 26 年 8 月 5 日～9 月 28 日
だまし絵Ⅱ	平成 26 年 10 月 15 日～12 月 28 日
日本スイス国交樹立 150 周年記念 フェルディナント・ホドラー展（仮題）	平成 27 年 1 月 24 日～4 月 5 日（予定）

(2) 「県美プレミアム」の開催

コレクションを活用したテーマ性を明確にした小企画展示等を実施

- 県立美術館の元気づくり事業
 - 来館促進のため、アウトリーチ活動（特別展の出張解説）や、学校、親子等での美術鑑賞、出前授業、制作体験等を推進
- 県立人と自然の博物館の運営

展覧会名	期 間
収蔵コレクション展「ゾルンホーフェンの化石コレクション」展	平成 26 年 7 月 19 日～11 月 3 日
震災 20 年 阪神・淡路大震災からの復興～市民まちづくりとみどりのネットワークの奇跡～	平成 26 年 10 月 4 日～1 月 17 日
震災 20 年 ひょうごの活断層はざとり展示	平成 26 年 11 月 8 日～1 月 17 日

- コウノトリの野生化推進事業
 - (1) 野生馴化訓練の実施
 - (2) 普及啓発・環境教育の推進（出前講座の実施、環境教育プログラム開発等）
 - (3) コウノトリ（飼育個体）の遺伝情報の解析
 - (4) コウノトリ国際学術共同研究の実施
- 第5回「コウノトリ未来・国際かいぎ」の開催
 - 時 期 平成26年7月19日（土）～20日（日）
 - 場 所 豊岡市民会館
 - 参加者 約2,000人
- 第3次ひょうご子どもの読書活動推進計画の策定
 - 子どもの読書環境の整備、充実を図るための基本方針を定める「ひょうご子どもの読書活動推進計画〈第3次〉」を策定
- 県立歴史博物館の運営

展覧会名	期 間
2014年NHK大河ドラマ特別展「軍師官兵衛」	平成26年3月21日～5月6日
こどもの科学 ーふしぎ玩具のいま・むかしー	平成26年7月5日～8月31日
播磨と本願寺 ー親鸞・蓮如と念仏の世界ー	平成26年9月27日～11月30日

- 県立考古博物館の運営

展覧会名	期 間
古代官道 山陽道と駅家 ー律令国家を支えた道と駅ー	平成26年4月19日～6月22日
兵庫五国の考古学 ー官兵衛を巡る五国の城ー	平成26年7月12日～9月7日
鉄道がきた！ ー舟運・海運・馬車道・鉄道ー	平成26年10月4日～11月30日
ひょうごの遺跡2015 ー調査研究速報ー	平成27年1月17日～3月29日

等

2 のじぎく兵庫国体やのじぎく兵庫大会の成果を生かしたスポーツの振興

- 「兵庫県スポーツ推進計画」に基づき、より多くの人々が、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合う「スポーツ立県ひょうご」の実現をめざす取組を進めた。また、第3回神戸マラソンを開催し、震災の教訓・体験や兵庫・神戸の魅力、東日本大震災の被災地への希望のメッセージを国内外に発信した。

〔平成25年度（第1期プラン）の取組状況〕

- 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率（60%（H23まで））

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
実施率	43.8%	59.9%	54.5%	58.4%	59.4%	61%	47.2%	△

- 国民体育大会における天皇杯順位 11位（目標8位入賞）

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
順位	7位	10位	8位	11位	11位	8位以内	12位	▲

- 国内外で活躍する本県選手数

	H20実績	H21実績	H22実績	H23実績	H24実績	H25目標	H25実績	評価
選手数	337人	314人	347人	424人	514人	400人	484人	◎

- 「兵庫県スポーツ推進計画」（平成24年12月策定）の推進

基本理念：全ての県民がスポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、共に支え合う兵庫のスポーツ文化の確立 ～一人ひとりが健康で、いきいきと暮らす社会「スポーツ立県ひょうご」の実現～

重点目標：①スポーツをする子どもの増加と体力の向上
 ②成人のスポーツ実施者の増加
 ③競技力レベルの向上
 ④障害のある人のスポーツ参加者の増加
 ⑤手軽に参加できるスポーツ環境の整備

- 第3回神戸マラソンの開催（H25.11.17開催、20,411人）

- 新兵庫県競技力向上事業（はばたけ兵庫推進プラン）の実施
兵庫タレント発掘事業（小・中学生対象）

等

[平成 26 年度（第 2 期プラン）の主な取組]

- 神戸マラソンの開催
 - 時 期 平成26年11月23日（日）
 - 参加人数 20,000人
- 「スポーツクラブ 21 ひょうご」と連携した「スポーツ立県ひょうご」創造事業
 - (1) 全県推進委員会の開催
 - (2) 全県スポーツサミットの開催
 - (3) ブロック別交流促進事業の開催
- 「関西マスターズスポーツフェスティバル」の開催
 - (1) 総合開会式の実施（平成 26 年 5 月 31 日 県立三木総合運動公園）
 - (2) 種目別大会の開催（平成 26 年 4 月～27 年 3 月 県内各地で開催）
（41 競技、54 大会、参加予定者数約 11,000 人）
 - (3) スポーツ体験コーナー（平成 26 年 11 月 23 日 神戸しあわせの村）
 - (4) 「ひょうご de スポーツ推進月間」の展開（10 月～11 月）
 - (5) スポーツ推進フォーラムの開催（平成 26 年 10 月 31 日 高砂市文化会館）
- 第 2 期新兵庫県競技力向上事業～世界にはばたけ兵庫プロジェクト～
[選手強化事業]
 - (1) 未来のスーパーアスリート支援事業
 - (2) 重点競技強化事業（好成績が期待できる競技等への重点的支援）
 - (3) スポーツ指導者海外派遣補助事業
 - (4) 一般強化事業（40 競技団体の競技力向上に向けた支援）
- 兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の開催
 - 県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的とし、第 8 回
兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会を開催（平成 26 年 5 月 16 日～6 月 6 日）
- 「はばタンスポーツ基金」活用事業
 - 国際大会、全国規模の大会等の開催により、県内競技団体の競技力向上を図ると
ともに、県民にハイレベルな大会の観戦機会を提供

等

ひょうご教育創造プラン（兵庫県教育基本計画）に係る具体的な目標の取組状況一覧

具体的な目標			21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績	25年度評価	担当課	
1 自立的に生きる力を培い、創造性を伸ばす教育の推進											
1	(2)	①	◎ 公立小学校高学年での教科担任制の推進 ……全県実施660校（平成24年度）	113校	261校	466校	全県実施 660校	全県実施	全県実施 657校	◎	義務教育課
1	(2)	①	◎ 反復学習のための学習タイムを週4回実施 ……全公立小・中学校（平成24年度）	小: 73.0% (467/640校) 中: 92.1% (246/267校)	小: 77.9% (489校) 中: 95.9% (255校)	小: 93.9% (587/625校) 中: 97.3% (257/264校)	小: 100% (617/617校) 中: 100% (264/264校)	小: 100% 中: 100%	小: 100% 中: 100%	◎	義務教育課
1	(2)	①	◎ 小・中学校において、教員研修を通じて指導力の向上を図り、「ことばの力」を育成する指導を充実……実施率100%	—	—	100% (小625、中264校)	小: 100% (617/617校) 中: 100% (264/264校)	100%	中: 100% (263/263校)	◎	義務教育課
1	(2)	①	◎ 全国学力・学習状況調査の結果について全国平均を上回る	平均正答率 小: 県66.3% 国66.0% 中: 県69.1% 国68.3%	平均正答率 小: 県71.6% 国72.0% 中: 県66.4% 国65.5%	(H23調査なし)	平均正答率 小: 県66.8% 国66.9% 中: 県62.6% 国61.7%	全国平均以上	平均正答率 小: 県64.7% 国64.2% 中: 県65.9% 国64.5%	○	義務教育課
1	(2)	②	◎ 数学・理科甲子園（全国大会）の開催 ……「数学・理科甲子園」の参加者数1,600人	555人	711人	1070人	1,486人	1,600人	1,942人	◎	高校教育課
1	(2)	②	◎ 県立人と自然の博物館の研究員による授業支援、学校での展示（学校キャラバン）、教員研修の実施 ……学校団体向けセミナーの実施300回	・学校団体向けセミナー 214回 ・学校での展示 1回 ・教職員セミナー 27講座、468名	211回 1回 25講座、464名	209回 1回 24講座、467名	238回 3回 28講座、496名	・学校団体向けセミナー 300回 ・学校での展示 3回 ・教職員セミナーの実施	・学校団体向けセミナー 237回 ・学校での展示 3回 ・教員セミナー 27講座、422人	△	社会教育課
1	(2)	③	◎ ICT環境の整備……全公立学校を対象 ・校内LAN整備率100%	87.1%	91.6% (全国82.3%)	94.7% (全国83.6%)	95.5% (全国84.4%)	100%	H26.9調査	※	教育企画課
			・教育用コンピュータ1台当たり児童生徒数を全国平均以上 ・超高速インターネット接続率を全国平均以上	7.2人 (全国6.8人) 85.2%	6.8人 (全国6.6人) 86.1% (全国67.1%)	6.8人 (全国6.6人) 86.7% (全国69.8%)	6.7人 (全国6.5人) 89.6% (全国75.4%)	全国平均以上	H26.9調査	※	教育企画課
1	(2)	③	◎ 教員用コンピュータ1人1台……全県立学校を対象	100% (168校)	100% (168校)	100% (162校)	100% (164校)	全県立学校	H26.9調査	※	教育企画課
1	(2)	③	◎ 教員のICT活用指導力の向上 ……全公立学校を対象 ・ICTを活用して指導できる教員の割合を全国平均以上	55.5% (全国58.5%)	60.2% (全国62.3%)	62.1% (全国65.1%)	64.3% (67.5%)	全国平均以上	H26.9調査	※	教育企画課
1	(2)	④	◎ 県立高等学校・中等教育学校を対象とした「ことばの力」を育成する本県独自の教材（平成21年度作成）を活用した授業の全県展開 ……全県立高等学校で活用	教材作成	授業の全県展開	60.1%	67.6%	全県立高等学校で活用	H26.6調査	※	高校教育課
1	(2)	④	◎ 読書習慣の育成 ……家庭で1日30分以上読書する児童生徒の割合を全国平均以上	小学校 県 34.0% 国 35.2%	県 33.9% 国 35.9%	(H23調査なし)	県 32.4% 国 34.8%	全国平均以上	県34.4% 国36.6%	○	義務教育課
			中学校 県 23.6% 国 26.1%	県 25.3% 国 27.3%	(H23調査なし)	県 25.1% 国 28.1%	全国平均以上	県26.3% 国29.5%	△	義務教育課	
1	(2)	⑤	◎ 外国語指導助手（ALT）の配置・訪問の実施 ……外国語指導助手を活用した授業時数の拡大を図り、全県立高等学校及び県立中等教育学校への配置・訪問を継続	100% (157校)	100% (156校)	100% (151校)	100% (150校)	全県立高等学校及び県立中等教育学校への配置	100% (150校)	◎	高校教育課
1	(2)	⑤	◎ 次世代育成国際交流事業の実施…… ・本県姉妹州の高等学校との生徒交流の推進 ・タイ王国教育関係者との交流推進 ・西オーストラリア州との教員交流の実施	23名	23名	11名	13名	交流の実施	14名	◎	高校教育課
1	(2)	⑥	◎ 「ひょうご匠の技」探求事業 ……工業科を設置する全県立全日制高等学校を対象	100% (12校)	100% (12校)	100% (12校)	100% (12校)	100%	100% (12校)	◎	高校教育課
1	(2)	⑥	◎ 「ひょうごの達人」招聘事業 ……農業・水産・商業・家庭に関する学科を設置する全県立高等学校を対象	100%(26校)	100% (24校)	100% (21校)	100% (21校)	100%	100% (22校)	◎	高校教育課
1	(2)	⑥	◎ ものづくり体験館体験事業による中学生等を対象とした体験学習の推進	—	—	—	—	10,000人	12,305人	◎	能力開発課

具体的な目標			21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績	25年度評価	担当課	
1	(2)	⑥	◎ 県立特別支援学校における就労体験活動の実施……高等部を設置する全県立特別支援学校を対象	100% (21校)	100% (22校)	100% (21校)	100% (22校)	100% (22校)	◎	特別支援教育課	
1	(3)	①	◎ 道徳教育の副読本の活用を盛り込んだ年間指導計画の作成……全公立小・中学校	副読本の作成	—	100% (891校)	100% (883校)	100% (877校)	◎	義務教育課	
1	(3)	①	◎ 道徳教育の指導の手引きの活用（平成22年度～）	作成	活用	100% (891校)	100% (883校)	100% (877校)	◎	義務教育課	
1	(3)	①	◎ 道徳教育の研修の実施……全公立小・中学校の道徳教育推進担当者を対象	100% (908校)	100% (896校)	100% (891校)	100% (883校)	100% (877校)	◎	義務教育課	
1	(3)	②	◎ YU・らいふ・サポート事業……全県立特別支援学校を対象	100% (23校)	100% (24校)	100% (23校)	100% (24校)	100% (24校)	◎	特別支援教育課	
1	(3)	②	◎ 障害児の自然体験活動推進事業……小・中学部を設置する全公立特別支援学校を対象	100% (38校)	100% (39校)	100% (38校)	100% (38校)	100% (38校)	◎	特別支援教育課	
1	(3)	③	◎ 伝統文化体験事業（伝統文化体験フェスティバル）……参加者数1,500人	1,382人	1,808人	2,403人	2,439人	1,500人	2,405人	◎	芸術文化課
1	(4)	①	◎ 新体力テスト項目で全国平均と同等または上回る項目の割合……小学生・中学生80%以上	小学生 61.2%	58.3%	66.7%	71.9%	80.0%以上	66.6%	△	体育保健課
				中学生 63%	中学生 68.5%	79.6%	79.60%	80.0%以上	72.2%	○	体育保健課
1	(4)	①	◎ 新体力テスト項目で全国平均と同等または上回る項目の割合……高校生90%以上	77.8%	83.3%	88.9%	87.0%	90.0%以上	79.6%	△	体育保健課
1	(4)	②	◎ 食に関する年間指導計画の作成……全公立小・中学校及び小・中学部を設置する全公立特別支援学校	85.4% (1,021/ 1,195校)	90.3% (1,071/ 1,186校)	94.5%	95.6%	100.0%	96.8%	○	体育保健課
1	(4)	②	◎ 学校給食での県産品使用割合……35%（～平成27年度）	27.7%	30.0%	28.9%	29.3%	33.4%	28.7%	△	体育保健課
1	(5)	①	◎ 県立高等学校教育改革第二次実施計画の着実な実施（平成21年度～） ・通学区の再編 ・入学者選抜制度の改善 など	単位制高校 27校	27校	28校	29校	29校	29校	◎	高校教育課
				複数志願制 8学区	11学区	12学区	12学区	12学区	12学区	◎	高校教育課
				特色選抜 8学区	11学区	全学区 (16学区)	全学区 (現行16学区)	全学区 (現行16学区)	全学区 (現行16学区)	◎	高校教育課
1	(6)	①	◎ 県立特別支援学校の規模過大解消に向けた対策の推進	—	—	—	播磨西地域 新設校の設置 検討	播磨西地域 新設校の設置 完了	設置完了	◎	特別支援教育課
1	(6)	①	◎ 校園内委員会の設置……公立の全幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校	99.5% (1,521/ 1,528校園)	99.6% (1,500/ 1,506校園)	100% (1,492/ 1,492校園)	100% (1,437/ 1,437校園)	100%	100% (1,425/ 1,425校園)	◎	特別支援教育課
1	(6)	①	◎ 特別支援教育コーディネーターの指名……公立の全幼稚園、小・中・高等学校及び特別支援学校	97.4% (1,488/ 1,528校園)	97.8% (1,473/ 1,506校園)	99.2% (1,480/ 1,492校園)	100% (1,437/ 1,437校園)	100%	100% (1,425/ 1,425校園)	◎	特別支援教育課
1	(6)	①	◎ 公立特別支援学校での該当免許状保有率向上……100%	83.7% (1,035/ 1,236人)	83.8% (1,066/ 1,272人)	88.8% (1,207/ 1,360人)	91.3% (1,293/ 1,416人)	100%	90.8%	○	教職員課 特別支援教育課
1	(6)	①	◎ 公立特別支援学校が行う教育相談等の充実……3,000件	3,126件	3,597件	3,759件	3,911件	実施	3,986件	◎	特別支援教育課
1	(6)	①	◎ 発達障害者支援センター・ランチの設置……6カ所	4カ所	5カ所	6カ所	6カ所	6カ所	6カ所	◎	障害福祉課
1	(6)	②	◎ 県立特別支援学校高等部生徒の現場実習の充実……受入事業所数 300事業所	281事業所	337事業所	367事業所	427事業所	300事業所	448事業所	◎	特別支援教育課
1	(7)	①	◎ 私立小学校環境体験活動事業……全私立小学校3年生（又は4年生）を対象	3校	3校	3校	4校	全11校	4校	▲	私学教育課
1	(7)	①	◎ わくわく幼稚園開設事業……私立幼稚園202園（全私立幼稚園の85%）で実施	154園	157園	160園	160園	202園	157園	△	私学教育課
2 「体験教育」をはじめ兵庫の特色ある教育の推進											
2	(1)	①	◎ 環境体験事業……全公立小学校3年生を対象（平成21年度～）	100% (805校)	100% (793校)	100% (790校)	100% (783校)	100%	100% (777校)	◎	義務教育課
2	(1)	①	◎ 自然学校……全公立小学校5年生を対象	100% (803校)	100% (794校)	100% (791校)	100% (783校)	100%	100% (777校)	◎	義務教育課
2	(1)	①	◎ 青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～の実施……全公立中学校1年生を対象	99.1% (348校)	100% (350校)	100% (347校)	100% (347校)	100%	100% (347校)	◎	義務教育課

具体的な目標			21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績	25年度評価	担当課
2	(1)	①	◎ 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」の実施……全公立中学校2年生を対象	100% (369校)	100% (368校)	100% (365校)	100% (366校)	100% (364校)	◎	義務教育課
2	(1)	①	◎ 高校生就業体験事業－インターンシップ推進プランの実施……全県立高等学校等の全ての生徒を対象とし、当面は就職希望者全員実施（平成27年度）	100% (156校)	—	40.0% (1,551/ 3,876人)	53.4% (2,242/ 4,199人)	70% 64.1% (2,633/ 4,107人)	○	高校教育課
2	(1)	①	◎ 高校生ふるさと貢献事業－トライやる・ワーカーの実施……全県立高等学校等の全ての生徒（平成27年度）	100% (156校)	—	78.8% (71,869/ 91,212人)	86.7% (78,333/ 90,321人)	90% 91.5% (85,169/ 93,107人)	◎	高校教育課
2	(2)	①	◎ より実践的な防災訓練の実施……全公立小・中・高等学校を対象	100% (1,335校)	100% (1,323校)	100% (1,313校)	100% (1,313校)	100% (1301校)	◎	教育企画課
2	(2)	①	◎ 地域と学校が連携した小学校区単位の防災訓練等の実施……全小学校区を対象	88% (708/805校)	89% (703校区)	86.0% (677/ 791校区)	92.2% (723/ 784校区)	100% 97.2% (757/ 779校区)	○	教育企画課
2	(2)	①	◎ 防災教育推進連絡会議の開催……全市町	80.5% (33/41市町)	100% (41市町)	100% (41市町)	100% (41市町)	全市町 100% (41市町)	◎	教育企画課
2	(2)	①	◎ 副読本を作成・活用した防災教育の推進	—	—	作成	小 98.9% (776/784校) 中・高 作成	全公立学校で活用 99.1%	○	教育企画課
2	(3)	②	◎ 子ども多文化共生サポーターの派遣……日本語指導が必要な外国人児童生徒が在籍する全ての公立学校を対象	100% (299校)	100% (326校)	100% (350校)	100% (338校)	100% 100% (320校)	◎	人権教育課
2	(4)	①	◎ スクールカウンセラー……全公立中学校への配置、小学校への配置の拡充	中 全269校 小 70校	中 全268校 小 80校	中 全266校 小 80校	中 全266校 小 80校	中 全校 小 配置拡充 中100% (265/265校) 小100校	◎	義務教育課
2	(4)	①	◎ キャンパスカウンセラー……全県立高等学校及び県立中等教育学校に配置し、キャンパスカウンセラー等を活用した教職員研修会を実施	100% (157校)	100% (156校)	100% (150校)	100% (150校)	全県立高等学校及び県立中等教育学校 100%	◎	高校教育課
2	(4)	②	◎ 学校支援チーム……全教育事務所・教育振興室に配置	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	◎	義務教育課
2	(4)	②	◎ 教育事務所「教育相談窓口」……全教育事務所・教育振興室に開設	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	100% (9か所)	◎	義務教育課
2	(4)	②	◎ ひょうごっ子悩み相談（いじめ相談24時間ホットライン）による電話相談の実施	4,509件	4,316件	5,377件	5,267件	実施 5,930件	◎	義務教育課
3 子どもたちの学びを支えるため、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進										
3	(1)	①	◎ 全市町に設置した学校支援地域本部の登録ボランティアを拡充……登録ボランティア数100,000人	77,671人	80,617人	76,675人	67,753人	60,000人 85,950人	◎	社会教育課
3	(1)	①	◎ 学校評議員の設置……全公立学校を対象	100% (1,102校)	100% (1,085校)	100% (1,078校)	100% (1,078校)	100% 100.0%	◎	高校教育課 義務教育課
3	(1)	①	◎ PTCA活動の支援……PTCA全県・地域研究大会参加者数毎年度20,000人	19,209人	19,679人	18,777人	18,201人	20,000人 20,632人	◎	社会教育課
3	(1)	②	◎ 「子ども教室」「児童クラブ」を開設……必要とされる全ての小学校区を対象	179校区 708校区	183校区 707校区	196校区 715校区	208地区 719校区	必要とされる全ての小学校区 777校区 216地区 716校区	◎ ○	社会教育課 こども政策課
3	(1)	②	◎ ひょうごグリーンサポートクラブの運営……全県民局を対象	100% (10か所)	全県民局 (10か所)	全県民局 (10か所)	全県民局 (10か所)	全県民局 全県民局 (10か所)	◎	環境政策課
3	(2)	②	◎ まちの子育てひろばの充実……開設数2,000か所	1,946か所	2,029か所	2,097か所	2,116か所	2,000か所 2,144か所	◎	男女家庭課
4 子どもたちが安心して学べる環境づくり、信頼される学校づくりの推進										
4	(1)	①	◎ 全公立学校の校長及び教頭の登用時平均年齢引き下げ……平成20年度の平均年齢(52.8歳)に比して1歳以上	53.0歳	53.0歳	53.3歳	52.9歳	51.8歳 53.1歳	△	教職員課
4	(1)	①	◎ 全公立学校の女性校長及び女性教頭の在職者数を増加……平成20年度の在職者数(255人)に比し1割増加	260人	263人 (全体比 12.0%)	274人 (全体比 12.6%)	266人	280人 269人	○	教職員課
4	(1)	①	◎ 学校自己評価及び学校関係者評価の実施と公表……全公立学校	[自己評価] 実施・公表 100% [関係者評価] 実施 100% 公表 99.3%	実施・公表 100% 実施 100% 公表 99.7%	実施・公表 100% 実施 100% 公表 100%	実施 100% 公表 89.9% 実施 100% 公表 91.8%	実施・公表 100% 実施 100% 公表 98.2% 実施 100% 公表 95.0%	○	教育企画課
4	(1)	①	◎ 主幹教諭の配置……全公立学校	83% (895/ 1,083校)	90% (958/ 1,065校)	92.7% (982/ 1,059校)	96.9% (1,020/ 1,053校)	100% 97.8% (1,021/ 1,044校)	○	教職員課

具体的な目標			21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績	25年度評価	担当課	
4	(1)	①	◎ 教職員の勤務時間の適正化……全公立学校において「ノー残業デー」「ノー会議デー」「ノー部活デー」を設定	—	—	96.8%	99.5% (1,048/ 1,053校)	100%	100.0%	◎	教職員課
4	(2)	①	◎ 広域人事の促進……市町間人事交流数400人 県市間人事交流数50人 合計450人	351人	388人	390人	409人	450人	415人	○	教職員課
4	(2)	①	◎ カウンセリング・マインド実践研修を実施……全公立小・中学校教職員を対象	100% (908校)	100% (896校)	100% (891校)	100% (883校)	100%	100% (877校)	◎	義務教育課
4	(2)	②	◎ 教職員のメンタルヘルス対策事業の充実……職場復帰トレーニング・プレ出勤の参加率を向上	78.5% (73/93人)	92.5% (86/93人)	76.1% (80/105人)	62.9% (61/97人)	80.0%	58.6% (58/99人)	△	教職員課
4	(3)	①	◎ オープンスクール……全公立の小・中学校及び特別支援学校を対象	99% (935/942校) 90,420人	100% (931校) 94,230人	100% (926校/926校) 102,188人	97,454人	102,000人	111,981人	◎	教育企画課
4	(3)	①	◎ オープン・ハイスクール……全県立高等学校において年間に複数回実施	87% (117/134校)	95% (127校)	98% (132/135校)	99% (135/136校)	100%	99.3% (135/136校)	○	高校教育課
4	(4)	①	◎ 県立学校施設の耐震化率の向上……95% (平成27年度まで)	65.4% (982/1,501棟)	68.6% (1,029棟)	77.9% (1,177棟)	83.6% (1,268棟)	90.0% (1,340棟)	87.8% (1,342棟)	○	財務課
4	(4)	②	◎ 小・中学校児童生徒の不登校……不登校児童生徒の割合について全国平均を下回る水準を維持	小0.22% (全国0.32%) 中2.69% (全国2.77%)	0.23% (全国0.32%) 2.60% (全国2.73%)	0.25% (全国0.33%) 2.60% (全国2.64%)	0.25% (全国0.31%) 2.55% (全国2.56%)	全国平均未満	H26.9公表	※	義務教育課
4	(4)	②	◎ 小・中学校児童生徒のいじめ……認知したいじめを解消させた割合を全国平均以上	75.6% (全国79.5%)	76.2% (全国79.4%)	78.4% (全国81.0%)	87.0% (全国89.4%)	全国平均以上	H26.5調査	※	義務教育課
4	(4)	③	◎ 司書教諭の配置……12学級以上の全公立学校で発令	100% (664校)	100%	100%	100%	100%	100%	◎	教職員課
4	(4)	③	◎ 学校図書館図書整備……学校図書館図書標準を達成している学校数の割合を全国平均以上	小42.3% (全国50.6%) 中39.3% (全国42.7%)	H22調査なし	53.5% (全国56.8%) 47.6% (全国47.5%)	H24調査なし	全国平均以上	H26.9調査	※	義務教育課
4	(5)	①	◎ 教育委員会会議の傍聴者数の増加……50人	48人	50人	70人	61人	50人	56人	◎	教委総務課
4	(5)	①	◎ 意見交換会や意見聴取の機会の増加……10回	8回	8回	11回	9回	10回	11回	◎	教委総務課
4	(5)	①	◎ 学校等教育施設、学校行事等の視察の増加……20回	12回	18回	21回	18回	20回	20回	◎	教委総務課
4	(5)	①	◎ 教育施策の推進に係る会議や行事への参加の増加……10回	4回	6回	8回	9回	10回	9回	○	教委総務課
5 新しい時代を担う人材育成や高度な研究を充実し、地域とともに歩む高等教育の推進											
5	(1)	①	◎ 管理栄養士養成課程（食環境栄養課程）の運営（入学定員：35名）	開設	運営	運営 (入学者数： 38名)	運営 (入学者数： 36名)	運営	運営 (入学者数： 35名)	◎	大学課
5	(1)	①	◎ 緑環境景観マネジメント研究科の運営（入学定員：20名）	開設	運営	運営 (入学者数： 20名)	運営 (入学者数： 20名)	運営	運営 (入学者数： 21名)	◎	大学課
5	(1)	①	◎ シミュレーション学研究科の運営（入学定員：20名）	開設準備	開設準備	開設 (入学者数： 22名)	開設 (入学者数： 23名)	運営	運営 (入学者数： 19名)	◎	大学課
5	(1)	②	◎ 学生による授業評価アンケートの実施	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	◎	大学課
5	(1)	③	◎ 大学との連携授業の実施	43回	48回	44回	49回	実施	50回	◎	大学課
5	(2)	①	◎ シミュレーション学研究科と大学連携拠点の運営	設置準備	設置準備	開設	運営	運営	運営	◎	大学課
5	(2)	①	◎ 次世代ピコバイオロジー教育研究の推進	研究の継続	研究の継続	研究の継続 (新専攻の準備) (獲得額： 271,601千円)	新専攻の準備	新専攻の設置	運営 (入学者数： 6名)	◎	大学課
5	(2)	②	◎ 科学研究費補助金の申請率（全教員に占める申請者の割合）……75%以上	77.6%	74.9%	75.3%	73.7%	未定	74.7%	○	大学課
5	(2)	③	◎ 研究者データベースの登録率……100%	99.0%	98.2%	99.3%	99.1%	100.0%	98.2%	○	大学課
5	(3)	①	◎ 公開講座の受講者数……毎年度600人	1,149人	1,120人	1,113人	1,045人	600人	1,144人	◎	大学課
5	(3)	②	◎ インキュベーションセンターの利用率……100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	◎	大学課
5	(3)	③	◎ 留学生受入数……毎年度、20人の学術交流及び留学生200人	学術交流 50人 留学生 187人	64人 190人	56人 181人	59人 174人	20人 200人	59人 176人	△	大学課

具体的な目標			21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績	25年度評価	担当課	
5	(4)	①	◎ 認証機関による大学評価を通じた大学の質の向上 認証評価の実施	認証評価の活用	認証評価の活用	認証評価の活用	認証評価の活用	認証評価の活用	◎	大学課	
5	(5)	①	◎ HUMAP大学相互の留学生数 ……毎年度、留学生200人及び研究者10人	留学生 335人 研究者 10人	270人 10人	848人 12人	927人 10人	200人 10人	371人 12人	◎	大学課
6 県民だれもが生きがいをもって地域社会に参画する生涯社会づくりの推進											
6	(1)	①	◎ 県立嬉野台生涯教育センター ……年間総利用者数200,000人	209,996人	208,633人	215,099人	212,399人	200,000人	196,071人	○	県民生活課
6	(1)	①	◎ 県立美術館 ……年間総利用者数600,000人 コンサート等のイベントの実施100回以上	1,048,233人 127回	824,833人 113回	645,166人 123回	655,686人 137回	1,026,000人 100回	731,173人 105回	△	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県立図書館 ……年間貸出冊数毎年度1%増	78,634冊	82,965冊	83,978冊	78,588冊	85,600冊	71,537冊	△	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県立歴史博物館 ……年間総利用者数220,000人 歴史講座の実施60回以上	185,149人 57回	88,764人 63回	96,378人 69回	77,474人 61回	342,000人 60回	96,860人 55回	▲	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県立人と自然の博物館 ……年間総利用者数500,000人 学校等の要望に応じたセミナーの実施 300回以上	432,574人 326回	464,605人 333回	681,940人 302回	895,748人 295回	954,000人 300回	956,389人 339回	◎	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県立コウノトリの郷公園 ……〔普及講座〕年9回実施 〔団体等(学校・一般)普及啓発のための の受入〕年230件	年12回 231件	年9回 186件	年10回 213件	年9回 222件	年9回 230件	年11回 233件	◎	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県立考古博物館 ……年間総利用者数150,000人 体験講座の実施350回以上	155,911人 349回	155,203人 349回	136,010人 353回	149,083人 341回	290,000人 350回	155,126人 341回	▲	社会教育課
6	(1)	①	◎ 県内の公立文化施設等とのタイアップによる、 兵庫芸術文化センター管弦楽団コアメン バー演奏グループの演奏会の実施 ……延べ50回(平成21～25年度)	延べ12回	延べ29回	延べ39回	延べ58回	延べ50回	延べ75回	◎	芸術文化課
6	(1)	②	◎ 兵庫陶芸美術館 ……年間総利用者数200,000人	98,489人	119,991人	131,517人	109,464人	200,000人	98,796人	▲	芸術文化課
6	(1)	⑤	◎ 生涯学習情報プラザ ……年間総利用者数40,000人	48,851人	50,175人	50,631人	52,133人	40,000人	58,297人	◎	県民生活課
6	(2)	①	◎ 「ひょうご Heritage ジマンス」における歴 史文化遺産を活用した事業の実施件数	—	—	89件	112件	100件 (100%)	127件	◎	社会教育課 文化財課
6	(2)	①	◎ 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率 61%	59.90%	54.5%	58.40%	59.40%	61%	47.2%	△	スポーツ 振興課
6	(2)	①	◎ 「スポーツクラブ21ひょうご」の活動支 援……県内全域の会員数401,000人	378,913人	373,003人	368,062人	381,332人	401,000人	369,000人	○	スポーツ 振興課
6	(2)	①	◎ 市町における障害者スポーツ振興の組織化 ……全市町	4市町	5市町	9市町	9市町	41市町	9市町	▲	障害者 支援課
6	(2)	①	◎ 障害者スポーツ競技団体の組織化 ……33団体以上	24団体	29団体	34団体	36団体	45団体	39団体	△	障害者 支援課
6	(2)	①	◎ 障害者スポーツ振興のための指導員やボラ ンティアの人材確保 ……3,000人以上	2,035人	2,248人	2,491人	2,511人	3,700人	2,680人	△	障害者 支援課
6	(2)	①	◎ 国民体育大会での成績を維持 ……天皇杯8位以内入賞(平成19年度～)	10位	8位	11位	11位	8位以内	12位	▲	スポーツ 振興課
6	(2)	①	◎ 国内外で活躍する本県選手数 ……454名	314人/年	347人/年	424人/年	514人/年	454人/年	484人	◎	スポーツ 振興課

別添 2

ひょうご教育創造プラン（平成 25 年度実施計画）に掲げる具体的目標の達成状況が低い項目

（△▲：90%未満）

指標	目標	実績	達成率	評価	理由	対応
[1-2-2] 人と自然の博物館……学校 団体向けセミナーの実施	300 回	237 回 (対前年度比 99.6%)	79.0%	△	・セミナーガイドの積極的な配布や新聞での広報活動、近隣の学校へ出前授業の実施等に努めたが、学校の利用数増加には繋がらなかった。	・館内でのセミナーの広報に努める一方、これからの利用が見込めるキッズキャラバンや出前授業等のアウトリーチの増加を目指し、目標達成を図る。
[1-2-4] 読書習慣の形成……家庭で 1日 30 分以上読書する児童 生徒の割合	全国平均以上	中学校 兵庫 26.3% 全国 29.5%	89.2%	△	・学校においては「学習タイム」等を活用し読書習慣を育てているが、家庭での読書習慣の定着につなげていない。	・読書活動推進事業「実践事例のまとめ」(H25.3)等を活用し、読書時間の設定、親子共通で読める本の紹介など、家庭と連携して子どもたちの読書に対する関心や意欲を高める。 ・ビブリオバトル(書評合戦)など、より多くの本に接する機会を提供して読書活動の活性化を図る。
[1-4-1] 新体力テスト項目で全国平均 と同等または上回る項目の 割合	小学生 80.0%以上 高校生 90.0%以上	小学生 66.6% 高校生 79.6%	小学生 83.3% 高校生 88.4%	△ △	・スポーツの実施時間が減少している。 ・小学校女子の「2時間以上」運動する割合が低位 男子 34.4%、女子 16.4% ・高校生の「ほとんど毎日」運動する者の割合が減少 中学:男子 88.1%女子 67.9% 高校:男子 68.2%女子 35.1%	・幼稚園教員等を対象に「運動プログラム 2009」(DVD)を活用した実技講習会を実施し、幼児期からの運動習慣を育成する。 ・体力アップサポーター派遣により小学校の体育授業を充実させる。 ・体力アップスクール表彰及び表彰校の実践事例を普及し体力に関する意識を向上させる。 ・適切な運動部活動の実施により、高校女子生徒の入部率の向上を図る。
[1-4-2] 学校給食での県産品使用割合	33.4%	28.7%	85.9%	△	・学校給食で活用できる地元産食材が少ない市町がある。 ・阪神間などでは、野菜や肉・魚等の副食材において、大量調理に対応できる県産品の数量の確保が困難である。	・地元産に限らず、県産品のよさや教科学習との連携方法を提示する教材の開発や指導方法の充実・周知により、学校給食を「生きた教材」として活用する。

指標	目標	実績	達成率	評価	理由	対応
[1-7-1] 私立小学校環境体験活動事業(全私立小学校3年生(又は4年生)を対象)	全10校	4校	40.0%	▲	・全ての学校において環境体験活動を実施しているが、各校のカリキュラムに余裕がなく、県の補助基準(実施回数等)を満たすことができない。	・私立小学校長会や学校関係者との面談の機会等を活用して事業のPR、実施の働きかけを行い、実施校の増加を目指す。
[1-7-1] わくわく幼稚園開設事業… …全私立幼稚園の85%で実施	202園	157園	77.7%	△	・在宅幼児に対する教育提供について体制の整備ができていない園があるため。	・目標達成に向け幼稚園に働きかける。
[4-1-1] 全公立学校の校長及び教頭の登用時平均年齢引き下げ ……平成20年度の平均年齢(52.8歳)に比して1歳以上	51.8歳	53.0歳	—	△	・教頭については、40代の若手登用に努めているが、教員の年齢構成上50歳以上の層がきわめて多く、40代が少ない。管理職受験者・合格者も同様の状況にあり、登用平均年齢を下げるに至らなかった。	・管理職、特に若手教頭の登用を着実に進める。今後、高年齢層の大量退職に伴って、若手からの管理職の登用が一層必要になるため、登用時の平均年齢引き下げが見込まれる。
[4-2-2] 教職員のメンタルヘルス対策事業の充実(職場復帰トレーニング、プレ出勤の参加率を向上)	80%	58.6%	73.3%	△	・復職者の約半数が3月末に復帰するが、年度末の多忙な時期であり、受入体制が整えられなかった。 ・短期(3か月以上6か月未満)の休職者も増えており、復帰にあまり不安を感じていない教職員がいる。	・メンタルヘルスアドバイザーの学校訪問時等にプレ出勤の効果を知り、より積極的な活用を促す。
[5-3-3] 留学生受入数	200人	176人	88.0%	△	・留学生の大多数を占める中国からの留学生が日中関係悪化の影響等で伸びていないなど、外的要因による影響が大きい。	・外国人学生のための進学説明会への参加回数を増やすなど、留学生獲得方策を強化するほか、引き続き国際交流や留学生支援に努める。

指標	目標	実績	達成率	評価	理由	対応
[6-1-1] 県立美術館 ・年間総利用者数 ・コンサート等のイベントの実施	1,026,000人 100回	731,173人 (対前年度比 111.5%) 105回 (対前年度比 76.6%)	71.3%	△	・展覧会の内容に応じた広報の重点化やマスコミを通じた積極的な広報に努め、目標観覧者数を上回る成果を上げたものもあったが、全体として目標達成には至らなかった。 超・大河原展 101.6% クラーク・コレクション展 104.1%	・特別展、常設展でのイベントのより一層の魅力づくりを行う。(例:「宝塚歌劇展」での宝塚歌劇と連携したイベント等) ・常設展を「県美プレミアム」と改称し、テーマ性を明確にした小企画展示等を開催し、充実にを図る。(3月)
[6-1-1] 県立図書館 年間貸出冊数毎年度1%増	85,600冊	71,537冊 (対前年度比 91.0%)	83.6%	△	・市町図書館の蔵書(特に新刊本)の充実が図られた結果、県立図書館の貸出がこれまで以上に調査研究をする利用者限定され、貸出冊数が伸び悩んだ。	・開館40周年(26年度)にあたり、県民のふるさと意識を高める知の拠点「ふるさとひょうご何でも図書館」として新たな利用者を開拓する。 ・博物館等と連携し、体験活動と本を結びつけるアウトリーチ活動を展開し、これまで利用がほとんどなかった子どもや親子の利用者層の獲得に繋げる。
[6-1-1] 県立歴史博物館 ・年間総利用者数 ・歴史講座の実施	342,000人 60回	96,860人 (対前年度比 125.0%) 55回 (対前年度比 90.1%)	28.3%	▲	・夏休みのこども向け特別展や「官兵衛」関連のイベント等を積極的に広報し、入館者増に繋がったが、全体として目標達成には至らなかった。(「博物館はお化けやしき」展の対目標値は126.9%) ・姫路城の改修工事による姫路市内入込客数は(前年比 113%)、工事前の 31.6%という落ち込みであり、その影響で歴博の集客力が低下している。	・平成26年度は大河ドラマ「官兵衛」にちなんだ特別展や小企画展を開催し、集客に結びつける。特別展総観覧者数 39,813人(過去10年間で最高) ・夏の子どもの向け企画展が定着しつつあり、学校等への広報などにより一層集客に結びつける。 ・西播磨地区以外での広報活動の充実に図り、地元以外の来館者増を図る。(神戸マラソンでの広報ブース設置など)

指標	目標	実績	達成率	評価	理由	対応
[6-1-1] 県立考古博物館 ・年間総利用者数 ・体験講座の実施	290,000 人 350 回	155,126 人 (対前年度比 104%) 341 回 (対前年度比 97.4%)	53.5%	▲	<ul style="list-style-type: none"> ・開館から7年がたち、地元東播磨地域に利用が限られるようになった。 ・展覧会やイベント等の広報を東播磨以外にも積極的に行い(例:神戸マラソンでの広報ブース等)、入館者数は対前年度比104%と増加したが、全体として目標達成には至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の博物館等と連携したアウトリーチ活動を増やし、利用者の多様なニーズに応えるように努める。 ・地元の利用をさらに促すため、学校・園との協力や、自治会等へのきめ細やかな広報活動を行う。
[6-1-2] 兵庫陶芸美術館 ・年間総利用者数	200,000 人	98,796 人	49.4%	▲	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の展覧会は昨年以上の入館者を確保したものの、団体の誘客等が伸びず、春と秋の大型展の入館者が大幅に減少した。 ・学校等への積極的な働きかけにより参加校が増加したものの、その他主催イベント等への参加者が伸び悩んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展覧会企画内容の魅力アップ及び広告の強化に取り組む。 ・登窯復興等による地域活性化プロジェクト等、やきものの里全体の魅力発信により集客を拡大する。 ・学社連携事業の拡充により、児童生徒の鑑賞機会の増加を図る。
[6-2-1] 成人の週1回以上の運動・スポーツ実施率	61%	47.2%	77.4%	△	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度は第1回神戸マラソン、翌年にはロンドンオリンピックの開催等により、スポーツへの関心が急激に高まったが、定着が図れなかった。 ・ウォーキング等、生活習慣の中で、運動時間や運動量を確保出来ることなどを啓発してきたが、十分に浸透しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進フォーラムやスポーツクラブ21 全県スポーツサミット等において、通勤途中のウォーキング等日常生活の中でも出来る運動を啓発する。 ・未登録者でも参加できる「関西マスターズスポーツフェスティバル」を開催するなど、未実施者がスポーツを始めやすい環境づくりを推進する。
[6-2-1] 市町における障害者スポーツ振興の組織化	全41市町	9市町	22.0%	▲	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町が行財政改革において、職員数の削減や組織のスリム化に取り組んでいる中、既存の組織を活用して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者スポーツの一層の充実を図るには組織化が必要である旨を周知する。

指標	目標	実績	達成率	評価	理由	対応
[6-2-1] 障害者スポーツ競技団体の組織化	45 団体	39 団体	86.7%	△	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな競技は専用の施設等の確保が困難な場合がある。 ・障害者スポーツに対する社会的認知が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き団体設立に係る支援を継続する。 ・障害者スポーツを広報誌等で周知する。
[6-2-1] 障害者スポーツ振興のための指導員やボランティアの人材確保	3,700 人	2,680 人	72.4%	△	<ul style="list-style-type: none"> ・大会運営に必要な指導員・ボランティアの確保は概ねできているが、大会開催数拡大が運営体制の点などから困難な状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き障害者スポーツ指導員養成に取り組む。 ・大会開催地周辺の大学等にボランティア参加を働きかける。
[6-2-1] 国民体育大会での成績を維持	天皇杯 8 位以内	12 位	66.7%	▲	<ul style="list-style-type: none"> ・サッカー、ソフトテニス等の団体競技（高得点競技）での準優勝、大会新記録を樹立したウエイトリフティング、日本中学新記録を樹立した陸上競技等の個人種目で活躍があったものの、全体的には得点獲得ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックの開催も見すえ、強化合宿の回数を増やすなどの強化支援を図るとともに、有望選手の育成やジュニア層の強化に向けた指導者養成を図り、全体的な底上げを図る。